



1. 抽象的な2棟のタワーと大倉集古館で形成する風格ある都市景観 2. 本館解体前に徹底的な実測調査を行い忠実に再現したメインロビー  
3. オークラゆかりの美術品をちりばめた美術館のようなヘリテージロビー 4. 隣接する2,500㎡の公園が憩いの場となるオフィスエントランス



日建連表彰2021



第62回BCS賞

# The Okura Tokyo 大倉集古館

選定理由 【選考委員】  
野城智也・国府田道夫・賀持剛一

日本を代表するホテルの建て替えを契機とした、ホテル、オフィス、博物館、公園からなる大規模複合施設である。異なる組織の設計者や専門家が数多く参画する複雑なプロジェクトでありながら、リードアーキテクトのリーダーシップのもとに、首尾一貫した設計方針が徹底されている。

マスタープランは秀逸である。大倉集古館を含む三棟で囲まれた「オークラスクエア」を施設の中心に据えるダイアグラムにより、複合施設として絡み合う各種動線に関する諸課題を解決している。隣接する旧館の将来開発計画や周辺の建築・環境が、どのように変遷していったとしても、このダイアグラムは一〇〇年単位で地域の空間構成の要として機能していくであろう。

土地の権利関係を整理しつつ、敷地の五〇%を緑化し、平時は四季折々の木々花々の彩りを楽しめる憩いや交流の場として、非常時は防災拠点として活用できる都市公園を地域に提供されている。

「オークラスクエア」の計画と整合させるため、大倉集古館は原位置から曳家して移動した上で、免震化され改修保存されている。このことにより、かえって従前よりも敷地内における存在感を際立たせることに成功している。歴史的建築物に新たな息吹きを与えた積極的保存事例であるといえよう。

「和を継ぐ」というコンセプトのもと、細部に至るまで、この敷地や旧建築の記憶を継承していくことが探求され、現代の日本らしさとモダンイズムが融合し、この複合施設全体が新たな和のモダンの創造の場となり、抑揚の効いた上質な空間が隅々にまで展開している。

例えば、建て替え前の旧館のロビー・ホールはホテル全体の顔として独特の雰囲気をもっていたが、工芸的ともいえるディテールと、現代の革新技術が織りなすことで、旧館イメージの継承が徹底され、その空気感さえも再現されている。構成も広さも異なるにもかかわらず、あたかも、ずっと以前からそこにあったかのような、安らぎの空間を実現している。水平に広がる、新たな和のモダンの極致ともいえるその空間は、誰もが一度は訪れたいくなる東京の宝となっている。

また、このロビー・ホールに出現する高層棟を支える柱をスレンダーにするために、オフィス部分と

ホテル部分の構造架構を大きく切り替えている。にもかかわらず、高層棟の外観はそのことを感じさせない端正な表現となっており、設計者の総合的な力量を感じさせる。以上のようなマスタープランからディテールに至るまで、徹頭徹尾、設計方針が貫徹された本建築の完成度は、事業と建築・空間の質との関係を深く洞察し、地域に貢献しつつ、優れた空間を実現しようとした建築主の姿勢と、それに応えようとした設計者、施工者の不断の努力がもたらしたものである。まさに本賞の趣旨を体現した素晴らしい作品である。

## The Okura Tokyo / 大倉集古館 概要

- 所在地 東京都港区虎ノ門2-10-4、2-10-3
- 建築主 (株)ホテルオークラ、(公)大倉文化財団
- 設計者 (株)谷口建築設計研究所、大成建設(株)、(株)観光企画設計社、(株)日本設計、(株)森村設計、(株)NTTファシリティーズ
- 施工者 大成建設(株)
- 竣工日 2019年7月31日
- 敷地面積 The Okura Tokyo: 20,442.44㎡  
大倉集古館: 1,576.23㎡
- 建築面積 The Okura Tokyo: 13,262.54㎡  
大倉集古館: 459.61㎡
- 延床面積 The Okura Tokyo: 180,905.72㎡  
大倉集古館: 1,948.13㎡
- 階数 The Okura Tokyo: 地上41階、地下1階、塔屋2階  
大倉集古館: 地上2階、地下1階
- 構造 The Okura Tokyo:  
(地上)鉄骨造、一部コンクリート充填鋼管造  
(地下)鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造  
大倉集古館: 鉄筋コンクリート造(免震)



詳細や他の写真などは左記のQRコードからWebページにアクセスしてご覧ください。

《日建連表彰2021 第62回BCS賞受賞作品》 有明体操競技場/大宮区役所・大宮図書館/軽井沢風越学園/The Okura Tokyo/大倉集古館/渋谷ストリーム/昭和電工(大分県立) 武道スポーツセンター/大丸心斎橋本店/高崎芸術劇場/知立の寺子屋/日本橋室町三井タワー/日本橋スマートエネルギープロジェクト/東大阪市文化創造館/福田美術館/松原市民松原図書館 「読書の森」/ミュージアムタワー京橋/ミライオン(長崎県立長崎図書館、大村市立図書館、大村市歴史資料館)

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2021年で62回を数えました。